

スカラープログラムへの応募の流れ

4月上旬 スカラー募集発表
(中学生/高校生・高卒者/大学生・大学院生)
DO-IT Japanウェブサイト (<http://doit-japan.org/>)
やチラシ等で募集発表します。参加希望者はウェブ
サイトから応募書類をダウンロードしてください。

**4月中旬
~5月上旬** スカラー応募期間
作成した応募書類を事務局へ
郵送してください。

5月上旬 第一次選考(書類選考)
応募書類に基づき、審査委員会によって参加候補者
を選考します。

**5月中旬
~6月上旬** 第二次選考(面接)
第一次選考を通過した参加者と面接を行い、参加最
終選考します。

6月上旬 参加準備オンラインミーティング
パソコンやICレコーダー等の機材と、それぞれの障
害にあわせた支援機器を自宅へお送りします。
その後、インターネットを通じ、夏季プログラムへ参
加するための準備ミーティングを行います。

8月上旬 夏季プログラムへの参加

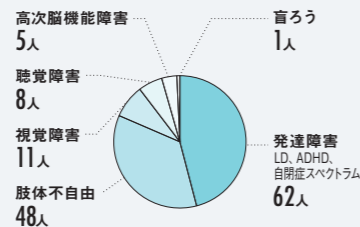
8月中旬以降 オンラインメンタリングへの参加
年間を通じて、メールやチャット
ミーティングを通じて様々なテ
ーマについて専門家に相談した
り、仲間と議論したりします。



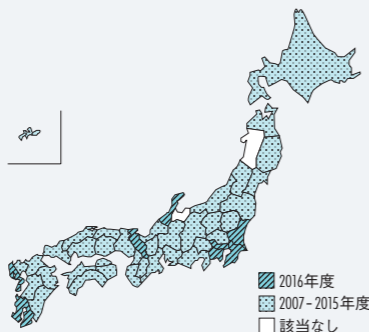
DO-IT Japan DATA

2016年現在

スカラーの障害内訳 ※重複あり



スカラーの出身地



スカラーの進学状況



大学進学先

- ・国立大学
- ・公立大学
- ・私立大学
- ・専門学校
- ・海外の大学
- …など、多数の
高等教育機関に
進学しています

試験での配慮の申請の例

高校入試	<ul style="list-style-type: none"> ・書字障害のある生徒：パソコンのキーボードを利用した試験の実施 [2015年度] ・ディスレクシアのある生徒：問題文の読み上げ(代読)の実施 [2011年度] ・ディスレクシアのある生徒：フォント、文字のサイズ、レイアウト、印刷用紙の色の変更、英語の問題文のPCによる音声読み上げの実施 [2016年度]
大学入試 センター試験	<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由のある生徒：数学および物理・化学において1.5倍の試験時間延長、代筆での試験の実施 [2012年度] ・ディスレクシアのある生徒：問題文の読み上げ(代読)の実施 [2015年度]
大学入試	<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由のある生徒：数学および物理・化学において1.5倍の試験時間延長、代筆での試験の実施 [2012年度] ・書字障害のある生徒：パソコンのキーボードを利用した試験の実施 [2011年度、2015年度]

※その他、時間延長、別室受験等あり



DO-IT Japan
DIVERSITY, OPPORTUNITIES, INTERNETWORKING & TECHNOLOGY

障害のある学生の進学と就労への移行支援を通じたリーダー養成プロジェクト

INFORMATION

153-8904 東京都目黒区駒場 4-6-1
東京大学先端科学技術研究センター
3号館 311号室 DO-IT Japan 事務局

TEL/FAX 03-5452-5228
E-MAIL toiawase@doit-japan.org
WEBSITE <http://www.doit-japan.org>

主催：DO-IT Japan、東京大学先端科学技術研究センター
共催：ソフトバンクグループ(株式会社エデュアス、ソフトバンクモバイル株式会社)、
日本マイクロソフト株式会社、富士通株式会社

DO-IT Japan Programs

DO-IT Japan の3つのプログラム

DO-IT Japan は、障害のある学生の中から、将来の社会のリーダーとなる人材を養成することを目的としたプログラムです。最新のテクノロジーと教育を通じて、障害のある学生をエンパワメントし、障害のある学生の可能性を最大化します。

Scholar Program メインプログラム

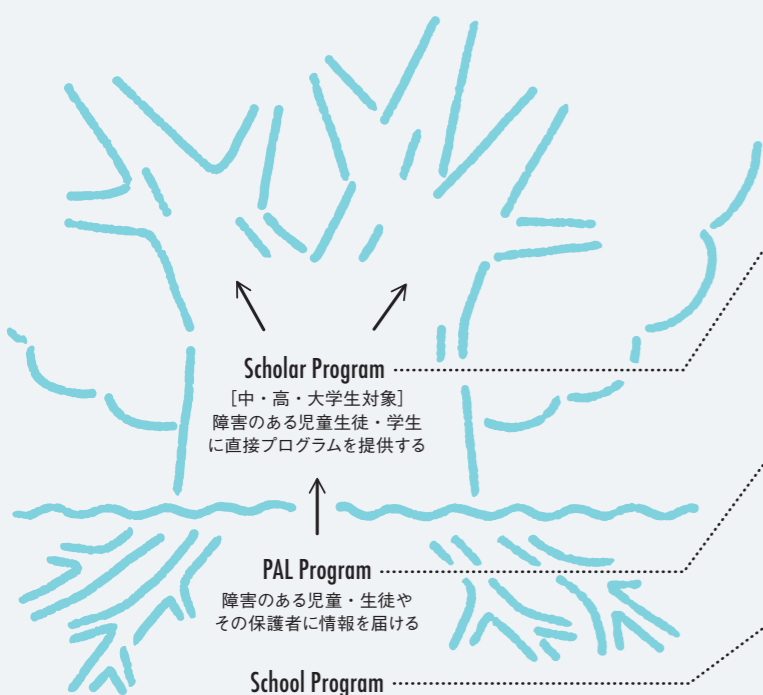
全国から選ばれた障害や病気のある中学生 / 高校生 / 高卒生 / 大学生・大学院生の中から、将来の社会のリーダーとなる人材を養成することを目的としたプログラムです。選抜を受け、プログラムに参加した学生は「スカラー」と呼ばれ、テクノロジーの活用を中心的なテーマに据えた様々なプログラムに参加することができます。

PAL Program 情報提供

テクノロジーを活用した学びの保障について学ぶ機会を、できる限り多くの、困難を抱える学生に届けることを目的としたアウトリーチ・プログラムです。多様な障害を原因として、学びの困難を抱える小・中学生とその保護者、高校生・高卒者、大学生・大学院生(本人)であれば、誰でも登録できます。

School Program 環境整備

障害のある学生たちの社会参加を支援・促進する活動を DO-IT Japan 協力企業の方々と広げていくための枠組みとしてスタートしたプログラムです。学校に対してテクノロジーやサービス、支援に関するノウハウを届けることで、配慮ある社会環境の整備を支援することを目的としています。



Scholar Program

プログラム内容

毎年夏に開催される夏季プログラムの参加に加え、インターネットを活用したオンラインメンタリング、ギャザリングなど、年間を通じたプログラムが開催されます。プログラム内容は、「テクノロジーの活用」を中心的なテーマに捉え、「セルフ・アドボカシー」、「障害の理解」、「自立と自己決定」などのテーマに関わる活動が行われています。



海外研修



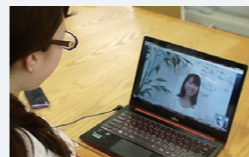
ギャザリング



専門家への
質問・相談



企業訪問



オンラインメンタリング

- メーリングリストでの情報交換
- オンライン・ミーティングへの参加

求める参加者像

本人の学びへの強い希望、社会に向けた発信力とリーダーシップを評価します。

- ▶ 障害のある生徒 / 学生であること
- ▶ DO-IT Japan プログラムの参加を強く希望していること
- ▶ 進学へ向けた学習意欲のあること
- ▶ 自分の興味や関心のある物事について探求していること
- ▶ DO-IT Japanが目指す「社会における進学・就労環境のバリアフリー化」に関心があること、またその活動へ協力できること

夏季プログラム ※プログラム内容は毎年変更します。



多様な障害のある社会人、学生との交流・意見交換



大学講義体験



社会参加と自己決定、リーダーシップをテーマとしたセミナーやワークショップへの参加



最先端のテクノロジー体験



一般公開シンポジウムへの参加と情報発信